

時 間	指導項目	学習活動・内容	評価の観点			主な評価基準
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	①消費者としてできること(1)	・実際の消費生活と結びつけ消費者の権利や責任について理解する。	・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。	・消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。	知識・技能 ・定期考査 ・実習 ・授業プリント ・レポート ・作業の取り組み
	②省エネルギーと持続可能な社会(1)	・自分や家族のエネルギー消費が環境に与える影響について知らせ、エネルギー消費を減らす方法について考える。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、考え工夫している。	・自立した消費者としての環境に配慮した生活について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。	
	③持続可能な消費生活を目指して(2)	・持続可能な社会を目指して、自分や家族ができることを考える。 ・エコ調理実習		・自立した消費者としての社会や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定している。	・自立した消費者としての社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。	
	①幼い頃の振り返り(1)	・自分の幼児期を振り返り、幼い頃の夢、エピソードなどをまとめる。	・幼い頃を振り返り、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。			
2	②幼児の体の発達(1)	・幼児の体の発達の特徴について考える。	・幼児の体の発達の特徴について理解している			主体的に学習に取り組む態度 ・定期考査 ・授業プリント ・レポート ・作業の取り組み
	③幼児の心の発達(1)	・幼児の心の発達の特徴について考える。	・幼児の心の発達の特徴について理解している。			
	④幼児の1日の生活(0.5)	・幼児の1日の特徴を理解する。	・幼児の発達と生活の特徴について理解している。		・幼児の観察について、工夫し創造し、実践しようとしている。	
	⑤支えられて身に付ける生活習慣(0.5)	・幼児の生活習慣がどのように身につくのか考える。 ・生活習慣の習得を支える家族の役割を考える。	・幼児の発達と生活の特徴について理解している。 ・子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。			
	⑥幼児の生活と遊び(3)	・幼児の生活やいろいろな遊びを観察し、遊びで育つ力について考える。 ・遊び道具を作る。	・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・幼児との関わり方について理解している。			
	⑦幼児との関わり方の工夫(1)	・幼児との触れ合いについて、自分の課題を設定する。	・幼児との関わり方について理解している。	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	
3	⑧幼児との関わりを生に生かす(0.5)	・幼児の成長の動画をもとに考察する。	・幼児との関わり方について理解している。	・幼児との関わり方での課題決に向けた一連の活動について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・幼児との関わり方での課題解決に向けた一連の活動について、振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。	

	⑨子どもにとっての家族 (0.5)	・子どもが育つ環境としての家族の役割を考える。	・子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。	・家族の立場から幼児との関わり方について考え、工夫している。	・家族の立場からの幼児との関わり方について、工夫し創造し、実践しようとしている。
	①家族との関わり (1)	・家族との関わりや、これからの自分の家庭生活について考える。 ・家族関係をよりよくする方法を考える。	・家族の互いの立場や役割について理解している。 ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできるとについて理解している	・家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・家族関係をよりよくする方法について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。
	②家族や地域の 高齢者との関わり (0.5)	・高齢者の体の特徴を理解する。 ・高齢者の体の特徴を踏まえ、関わり方を考える。	・高齢者など地域の人々と協働する必要があること、介護など高齢者との関わり方について理解している。	・高齢者との関わり方について課題を解決する力を身に付けている。	・高齢者との関わり方について、工夫し創造し、実践しようとしている。
	③地域での協働を目指して (0.5)	・家庭生活が地域との相互の関わりで成り立っていることに気づく。	・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。	・地域の人々と関わり、協働する方法について課題を解する力を身に付けている。	・地域の人々と関わり、協働する方法について、工夫し創造し、実践しようとしている。
	生活の課題と実践 (2)	・学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか自分や家族、幼児の食生活を見直す。 ・幼児のおやつ作り		・自分や家族、幼児の食生活や消費生活について課題を解決する力を身に付けている。	・自分や家族、幼児の食生活や消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
	学 習を終えて (0.5)	・これからの生活で生かしていきたいことを考える。			・家庭分野で学習したことを今後の生活に生かそうとしている。
合計	17.5 h				